

## 第 308 回静岡エフエム放送番組審議会議事録

1. 日 時 平成 27 年 2 月 10 日 (火) 11:50～13:300
2. 場 所 静岡エフエム放送本社会議室
3. 番組聴取合評 [番組名] K-mix おひるま協同組合  
[放送日時] 平成 27 年 1 月 14 日 (水) 11:30～14:55  
[出演者] 南真世、日下純
4. 出席者 [委員] 委員長 出口泰規  
副委員長 谷川真美  
委員 木宮敬信  
委員 小野晃司  
委員 山本りさ  
[会社] 代表取締役社長 祐嶋繁一  
常務取締役放送事業本部長 上野豊  
放送事業本部副本部長兼編成制作部長 久保田克敏  
編成制作部副部長 寺田和史

### 5. 事務局報告

- 地域との接触機会増大を目途としたイベント、公開生放送の実施状況について
- 営業売上現況について

### 6. 番組審議

- [対象番組] K-mix おひるま協同組合  
[放送日時] 平成 27 年 1 月 14 日 (水) 11:30～14:55  
[出演者] 南真世、日下純  
[番組内容] 一日の中で“その人らしさ”がイチバン発揮される“おひるま時間”に南真世、日下純の 2 人と、思い思いの時間を過ごすリスナーが“ラジオの架け橋”で通い合い、「井戸端会議」と称し、その日の話題についてリスナーの投稿をもとに進行。音楽もトークもたっぷりゆっくり届ける。この日の話題は「夫婦別寝」。

#### [聴取・合評での主な意見]

- 明るく、さわやかで二人の相性、バランスが良く聴き易い。
- 以前と比較し番組に安定感が出てきた。
- JAZZ の BGM が聴き易い。
- リスナーとリアルタイムにどう関わりを持つか、ということにしっかりチャレンジしている。

- リスナーからのメールは「こんなことを考えているんだな」と思うところがある。
- 日下さんが紹介したアルバムについて南さんがしっかりと考えた感想のコメントを伝えているところがとてもよい。
- ひとつのテーマを長い時間をかけて扱うという番組スタイルは珍しいと思うが、この番組は途中から聴いても参加できる良さがある。
- 音楽をフルコーラスで流す姿勢が良い。
- ひとつのテーマでのやりとりが長く続くのでメリハリが欲しい。情報のボリュームを調整したりすることでそれは可能だ。
- その日のテーマを長い放送時間の中で扱っていくので、その話題の結末をどこに着地させるのが難しいと思う。
- そもそもなぜこのテーマがその日に取り上げられたのか、という出発点に対応する形でゴールを設定すれば分かり易い。
- 13時台のコーナーはマンネリ化している。話題の中身が限られていると飽きが出る。
- 「災害に備える組合」はラジオショッピング的な演出が気になる。
- 「じじばばにおはなをおくろう組合」は、プレゼント先が祖父母と限定されており、企画に行き詰まりある。

[会社サイド]

前回（第 307 回）では、パーソナリティの NEWS や情報の伝え方、コメントの仕方、インタビューの仕方、情報の準備の仕方などについてご意見をいただきました。いただいたご意見は番組作りの参考とさせていただきます。今回（第 308 回）ご指摘いただきました点につきましても、今後の番組作りに反映させ、改善するようにいたします。

以上